授業科目	現代文Ｂ				平成３０年度 国語科シラバス
学年（コース）	３学年	探究	単位数	３	
授業内容	◎実践的な語彙力、深い読解力、論理的な思考力、豊かな表現力の養成。 ・実践的な語彙力を身につけ、読解力・思考力・表現力の向上を図る。 ・評論文の論理的構造を把握し、その論旨を読み取る力をつけさせる。 ・自らの主張を論理的に構築し、的確に伝える表現力を身につけさせる。 ・小説に描写された場面や、登場人物の言動と心理の変化を捉えさせる。 ・文学作品のテーマが持つ普遍性を考えさせる。 ・ICT 教材を活用し、読解力、思考力を多角的に向上させる。				
到達目標	◎語彙力、読解力、思考力、表現力の向上を図る。 ・入試問題に対応できる語彙力・漢字力の向上に努める。 ・難解な評論や長編小説を正確に読解する力を身につける。 ・自分の考えや感想を論理的に表現する文章力をつける。 ・入試問題に対応できる力を実践的な演習を通して高める。				
評価方法	以下の事項を総合的に検討して評価する。 定期考査・語彙力確認ﾃｽﾄ・宿題点検ﾃｽﾄ・課題の提出・ノート点検 ・日常の授業での取り組み姿勢				
使用教材	教科書　「精選現代文Ｂ」（東京書籍） 副教材　「三訂版　現代文　マーク完答」（尚文出版） 「大学入試国語頻出問題１２００」（いいずな書店） ※現代文単語《評論・小説》（桐原書店）は継続使用				
その他	語彙力確認テスト：大学入試に対応した語彙力、基礎知識等を確認する小ﾃｽﾄを授業で実施。 自分の力で読み解いていくのだという意識で取り組みましょう。				

●授業進度表

学年・コース	科目	単元	作品	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
				上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
3年探究	現代文Ｂ	評論	言語と記号					1学期中間試験						1学期期末試験									2学期中間試験						2学期期末試験									学年末試験		
		小説	檸檬																																				
		評論	鏡の中の現代社会																																				
		評論	垂直のファッション 水平のファッション																																				
		小説	舞姫																																				
		演習	センター試験演習																																				

授業科目	古典Ｂ				平成３０年度 国語科シラバス
学年（コース）	３学年	探究	単位数	２	
授業内容	◎教科書読解教材により、基礎知識の習得、読解能力の養成。 ＜古文＞ （１）古文の基礎知識を定着させ、それを活用して読解する。 古文単語・古典文法（助詞・助動詞・敬語・識別など）・古文常識など。 （２）表現に着目しながら読み、特色を捉え、それぞれの効果について理解する。 ○物語を読解し、登場人物の心理やその生き方を考える。 ○随筆に描かれた筆者の自然観・人生観、ものの見方に触れるとともに、自身の感覚を振り返り、文章で自己表現する。 ○日記文学を読み、作者の境遇・心情を理解し、人の生き方について考える。 ＜漢文＞ （１）漢文の基礎知識を定着させ、それを活用して読解する。 漢文の訓点・書き下し文・句法・漢文常識語など （２）漢文の訓読・読解を通して、内容や筆者の考えを理解する。 （３）描かれている時代を知り、人物の生き方を考える。 ◎センター試験過去問題・類題による演習。 （１）制限時間内に解く練習をした後、解説を聞き、解答を導く方法を習得する。 （２）グループワークを取り入れることで、客観的な読み方・解き方を身につけていく。				
到達目標	○古文・漢文の基礎知識を理解・習得し読解能力を身につける。 ○入試問題に対応できる力を習得する。 ○古典の読解を通して、時代背景や当時の人々の生き方・価値観を知り、自己のものの見方や感じ方・考え方を広く豊かにする。 ○古典に親しむことによって、豊かな日本文化を味わう態度を身につける。				
評価方法	定期考査・課題点検テスト・小テスト・日常の課題の提出や内容の状況を総合的に判断して評価を行う。				
使用教材	教科書　精選古典Ｂ　古文編　（東京書籍） 精選古典Ｂ　漢文編　（東京書籍） 副教材　三訂版　古典マーク完答２４　（尚文出版） 大学入試国語頻出問題１２００　（いいずな書店） ※　古語辞典、新修古典文法二訂版（京都書房）、 古文単語３３０（いいずな書店） 新明説漢文（尚文出版）国語便覧（数研出版）　は３年間使用				
その他	受身でなく自力で読むという意識を持ってください。 根拠をもって解答できるように、本文の読み取りを徹底すること。				

●授業進度表

	古典B			4月			5月			6月			7月		8月	9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年・類	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
3年探究	古文	随筆	徒然草					一学期中間					一学期期末							二学期中間					二学期期末									学年末考査		
		物語	堤中納言物語 大鏡																																	
		日記	紫式部日記																																	
		センター演習																																		
	漢文	史記	項羽																																	
		十八史略	鶏鳴狗盗																																	
		思想	人間論																																	
		センター演習																																		

授業科目	選択　古典Ｂ				平成３０年度 国語科シラバス
学年（コース）	３学年	探究文系	単位数	２	
授業内容	◎教科書読解教材により、基礎知識の習得、読解能力の養成。 古文 ・古典文法の基礎知識を活用して文章を読めるようにする。 文法事項（助動詞・助詞・敬語）や基本的な古語、文学史　古文常識 ・歌物語の特色や伝統を理解し、地の文と和歌のつながりを考え、和歌に託された心情を読み取る。 ・歴史物語の概要を理解し、主語や敬語に注意しながら読解する。 ・物語の登場人物の行動や心情を捉えながら、内容を読み取るとともに、和歌や情景描写の効果について考える。 ・各作品を中心に日本文学史の流れを理解する。 ◎入試過去問題・類題による演習。 記述で解答できる力を養う。				
到達目標	・古典の基礎知識の定着と活用。 ・古典の読解能力の育成。 ・問題演習を通して入試問題に対応できる力の養成。 （速読する力・解答を記述する力を養成） ・文章読解を通して、描かれている人間の思いや生き方･価値観に触れる。 ・文章の面白さを味わうとともに、日本語の美しさ・日本文化の豊かさを味わう。 ・センター試験に耐え得る力を身につけさせる。				
評価方法	定期考査・課題テスト・小テスト・日常の課題の提出や内容の状況、授業時の発表や態度などの取り組み姿勢・出欠状況などを総合的に判断して評価を行う。				
使用教材	教科書　「精選古典Ｂ　古文編」（東京書籍） 「精選古典Ｂ　漢文編」（東京書籍） 副教材　「新修古典文法　改訂版」（京都書房） 「新明説漢文」（尚文出版） 「新明説漢文ノート」（尚文出版） 「keipoint 古文単語３３０」（いいずな書店）				
その他	自力で読むという意識を持つ。根拠をもって解答ができるように、本文からの読み取りを徹底的に行う。				

●授業進度表（３年探究・文系選択）

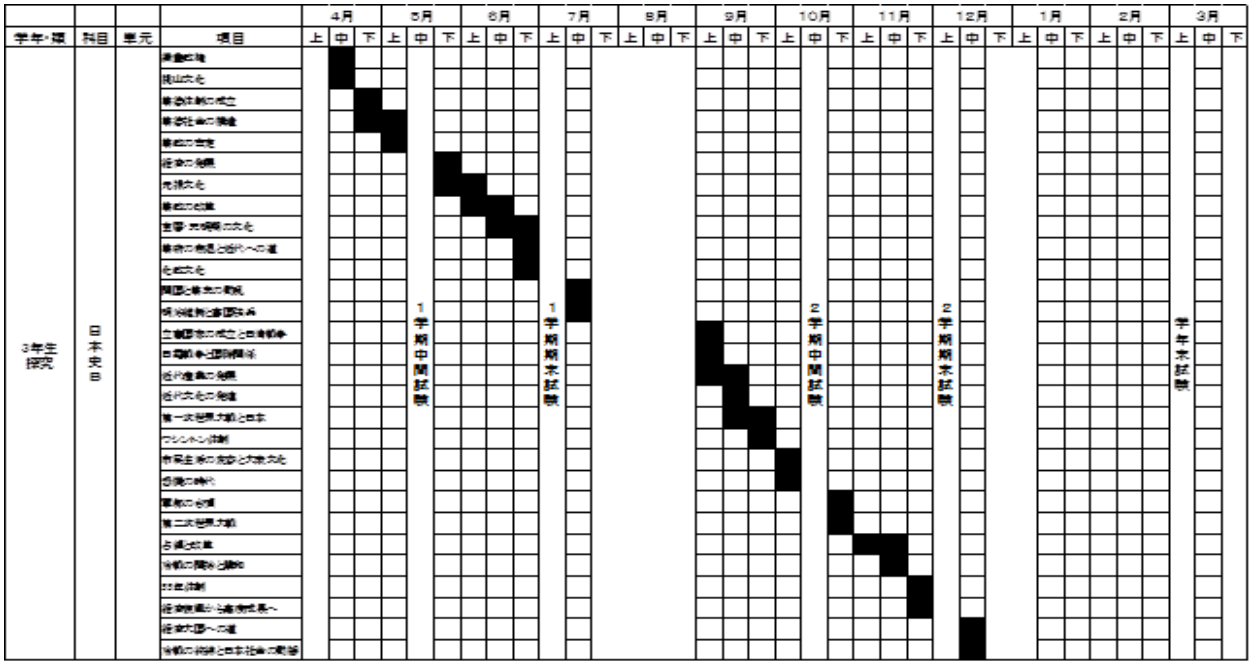
	古典B			4月			5月			6月			7月		8月	9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年・類	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
3年探究	古文	軍記物語	平家物語					一学期中間					一学期期末							二学期中間					二学期期末									学年末考査		
		日記	蜻蛉日記																																	
		物語	大鏡																																	
		私大演習																																		
	漢文	小説	小説																																	
		私大演習																																		

授業科目	世界史Ｂ				平成 30 年度 社会科シラバス
学年･コース	学年	3	単位数	4	
授業内容	教科書を中心として図表や資料等を適時導入しながら、世界の歴史への関心・意欲を喚起させ、世界の中の日本という意識を高めさせる。政治・経済との関連にも配慮をし、民族や国家の活動を学びながら、基本的な歴史事項を理解させる。 近世以降を，地域史を中心に展開し、さらに大航海時代以降のグローバル化による各地域間の交流の活発化にも注目し、世界の一体化が進んでいく過程を理解させる。さらに、近世以降のヨーロッパ人の進出があたえた影響に注目し、その中で、日本とのかかわりや、日本の位置づけを意識させる。 また、近現代以降，産業革命の進展による、資本主義の歴史とその中で展開された各国間の対立を中心に理解させながら、世界全体を巻き込んだ二度の世界大戦やその後の冷戦について考えさせる。また、その中での日本の歩んだ歴史についても理解させる。 そのうえで，各地域と現代世界の特質について、諸資料に基づいて考察させることによって，歴史的思考力を培い，それに基づいた判断力や表現力を身に付けさせ、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。 また、受験に対応するため、センター試験から国公立大学の二次試験にまで対応するため、基礎事項の定着だけでなく、自らの知識をもとに歴史事象について考え、表現する力を養う。				
到達目標	基本的な歴史事項を理解したうえで、諸資料を基づいて、自ら考え、判断し、評価する。他国や他地域の歴史を理解し，自国と世界とのかかわりを学び，日本の歴史や文化をより客観的に見る目を養う。				
評価方法	定期考査（70%）、提出物、授業ノート、小テスト等（30%）を加味し、評価をする。				
使用教材	詳説世界史Ｂ　〈山川出版〉 詳説世界史図録〈山川出版〉 世界史用語集〈山川出版〉 世界史重要語句 Check List〈啓隆社〉 地歴高等地図〈帝国書院〉 チェック＆演習世界史Ｂ〈数研出版〉				
その他					

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年・類	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
3年 探究	世界史B	第Ⅱ部	内陸アジア世界・東アジア世界の展開		■								1学期期末試験																										
			第Ⅱ部　まとめ		■																																		
		第Ⅲ部	アジア諸地域の繁栄		■	■																																	
			近世ヨーロッパ世界の形成			■	■																																
			近世ヨーロッパ世界の展開				■		■																														
			近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立						■	■																													
			欧米における近代国民国家の発展							■	■																												
			アジア諸地域の動揺								■	■																											
			第Ⅲ部　まとめ									■																											
		第Ⅳ部	帝国主義とアジアの民族運動									■		■																									
			二つの世界大戦																■	■																			
			冷戦と第三世界の独立																		■	■																	
			現在の世界																			■		■															

授業科目	日本史B				平成 30 年度 社会科シラバス
学年･コース	3 学年	探究	単位数	4	
授業内容	・「近世の日本と東アジア」では、織豊政権から江戸時代までを扱い、大航海時代から始まる南蛮文化の伝播における日本国内の変化、また鎖国政策に至る経緯と鎖国中の国内の動きや文化を資料中心に当時の時代背景を考察させる。 ・「近代・現代の日本と東アジア」では、幕末から現代までを扱い、欧州における産業革命とそれに伴う開国以降の爆発的な海外文化の流入で国内が大きく変化し、太平洋戦争に至るまでの国内外の変化を考察させる。また、戦後の国内外の関係を現在と比較させながら考察させる。				
到達目標	我が国の歴史展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて多角的に考察させる。また、現在まで続く伝統や文化への認識を重視させることによって、歴史的な思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民として、正しい判断力を養う。				
評価方法	定期考査を８割、授業態度、提出物等の平常点を２割として評価をする。				
使用教材	教科書：詳説　日本史Ｂ　（山川出版社） 資料集：図説日本史通覧　（帝国書院） 地図帳：地歴高等地図　（帝国書院）				
その他					

●授業進度表



授業科目	地理B				平成 30 年度 社会科シラバス
学年・コース	3学年	探究	単位数	3	
授業内容	①教科書における「地誌」と「現代社会の諸問題」の分野を扱う。 ②地図帳・資料集にチェックや書き込みをする。 ③新聞記事等の教材を使って、時事問題と地理的事象との関連性を学ぶ。 ④単元ごとに、重要事項についての小テストを行う。 ⑤適宜、宿題・週末課題を出す。 ⑥センター試験に向けた問題演習をする。				
到達目標	①系統地理における基礎知識を身に着ける。 ②地理的な事象について、その要因を地形・気候など地理的視点から理解できるようになる。 ③現代社会のもつ問題を知り、その原因を地理的な視点から考察できるようになる。 ④地図やデータの読み取りができるようになる。 ⑤これまでの系統地理の分野で培った基礎知識をもとに、各国の地誌を学びながら、各国の特徴や日本との関わり方などを理解する。				
評価方法	各定期考査を中心に、授業内での小テストや発表などを考慮する。 定期考査（８割）・平常点（２割）				
使用教材	教科書　『新詳 地理Ｂ』（帝国書院） 『新詳 高等地図』（帝国書院） 副教材　『新詳地理資料　ＣＯＭＰＬＥＴＥ』（帝国書院） 『新地理要点ノート』（啓隆社） 『データブック オブ・ザ・ワールド』（二宮書店）				
その他					

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年・類	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
3年 探究	地理B		世界を結ぶ交通・通信		■			1学期中間試験					1学期期末試験			夏休み						2学期中間試験						2学期期末試験			冬休み						学年末試験		
		人口,村落・都市	世界の人口		■	■																																	
			人口問題		■	■	■																																
			村落と都市			■	■																																
			都市・居住問題				■		■																														
		生活文化, 民族・宗教	生活文化						■	■																													
			民族と宗教							■	■																												
			現代世界の国家								■	■																											
			民族・領土問題									■		■																									
		世界の諸地域	アングロアメリカ											■						■																			
			ラテンアメリカ																	■	■																		
			オセアニア																	■	■	■																	
			東アジア																		■	■	■																
			東南アジア																			■	■																
			南アジア																			■		■															
			西アジア																					■	■														
			ヨーロッパ																					■	■	■													
			アフリカ																						■	■	■												
			ロシア																							■	■		■										
			日本																								■		■										
			問題演習																													■							

授業科目	倫理				平成30年度 社会科シラバス
学年・類（コース）	3学年	探究	単位数	3	
授業内容	・青年期の課題と自己形成 ・源流思想：ギリシャ思想、キリスト教、仏教、中国の思想 ・日本の思想 ・近代ヨーロッパ思想・現代思想 ・現代の諸課題と倫理				
到達目標	・青年期における自己形成の特質や，よりよく生きることを追求した先哲の思想について理解し，自ら思索を深め，自己や社会の問題について主体的に選択できるようになる。				
評価方法	各定期試験を8割、平常点を2割とし、授業への取り組み等を考慮する。				
使用教材	教科書　高等学校　改訂版　倫理（第一学習社） 副教材　最新図説倫理（浜島書店） 新倫理ノート（啓隆社） 倫理用語集（山川出版社）				
その他					

●授業進度表

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年・類	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
3年探究	倫理	青年期	よく生きることを求めて		■			1学期中間試験					1学期期末試験			夏休み						2学期中間試験						2学期期末試験			冬休み						学年末試験		
			青年期の課題		■	■																																
		源流思想	ギリシャの思想			■	■																															
			キリスト教・イスラーム				■		■																													
			仏教						■	■																												
			中国の思想							■	■																											
		日本の思想	日本の風土と伝統																	■																		
			外来思想の受容																	■	■																	
			町人意識のめざめと庶民思想																		■	■																
			西洋思想との出会い																			■																
		近現代ヨーロッパ思想	人間の尊厳								■																											
			近代の科学革命と自然観								■	■																										
			自由と平等な社会の実現									■		■																								
			人間性の回復と主体性の確立									■		■																								
			現代の思想と人間像											■					■																			
			生命への畏敬と社会参加																■																			
		現代の諸課題と倫理																						■	■													
		問題演習																							■	■	■		■									

授業科目	政治経済				平成30年度 社会科シラバス
学年・コース	3学年	探究	単位数	3	
授業内容	・資本主義経済制度や現代の資本主義の特徴について学習する。 ・現代の経済のしくみに理解する 戦後の日本経済の移り変わりを見るとともに、経済の諸課題を考える。 ・国際経済のしくみ・動向・課題や国際経済における日本の役割・課題について見ていく。 ・現代社会の諸課題を基本的な内容と課題を明確にする。 ・センター試験対策の演習問題を行なう。				
到達目標	政治・経済に関する知識を体系的に理解する。 民主主義・人権思想から、政治制度や動きを理解する。 市場経済・資本主義から、経済や政府の動きについて理解する。 国際関係について理解し、グローバル化の動きを政治と経済からとらえる				
評価方法	定期考査の点数を中心に平常点を加えて成績評価とする。 平常点は授業への取り組み，課題，提出物等を評価する。 定期考査（８割）・平常点（２割）				
使用教材	教科書　『高等学校 改訂版 政治・経済』（第一学習社） 副教材　『ベストセレクション センター試験　政治・経済　重要問題集』（実教出版） 『政治・経済資料 2017』（とうほう） 『用語集　政治・経済』（清水書院）				
その他					

●授業進度表

学年・類	科目	単元	項目	4月 上	4月 中	4月 下	5月 上	5月 中	5月 下	6月 上	6月 中	6月 下	7月 上	7月 中	7月 下	8月 上	8月 中	8月 下	9月 上	9月 中	9月 下	10月 上	10月 中	10月 下	11月 上	11月 中	11月 下	12月 上	12月 中	12月 下	1月 上	1月 中	1月 下	2月 上	2月 中	2月 下	3月 上	3月 中	3月 下
3年探究	政治経済	民主政治の基本原理と日本国憲法	選挙制度・世論	■	■																																		
		現代の国際政治と日本	国際社会と国際法	■	■																																		
			国際連合の組織と役割		■	■																																		
			国際政治の動向			■	■																																
			国際紛争と難民問題			■	■																																
			軍備管理と軍縮				■		■																														
			日本の外交と国際平和への役割						■																														
		現代経済のしくみと特質	経済社会の発展						■	■																													
			経済主体と経済活動							■																													
			市場経済の機能と限界							■	■																												
			経済成長と景気変動								■	■																											
			物価の動き					1学期中間試験			■	■	1学期期末試験										2学期中間試験					2学期期末試験									学年末試験		
			金融のしくみとはたらき									■		■																									
			財政のしくみとはたらき											■						■																			
			日本経済の歩み																	■	■																		
			中小企業の地位と役割																	■	■	■																	
			農業の現状と課題																		■	■	■																
			消費者問題																			■	■																
			高度情報社会の進展と課題																			■		■															
			労働問題																			■		■	■														
			社会保障制度の充実																					■	■	■													
			環境保全と資源・エネルギー問題																						■	■													
		国民経済と国際経済	国際経済のしくみ																							■	■												
			国際協調と国際経済機関の役割																							■	■												
			地域的経済統合																								■												
			グローバル経済・南北問題																								■			■									
		現代社会の諸課題																												■									

授業科目	数学Ⅱ				平成30年度 数学科シラバス
学年・コース	3学年	探究　文系	単位数	3	
授業内容	【センター試験対策】 ・センター試験を想定したマーク形式の問題演習を多く扱い、主に数学ⅡＢの各単元の復習し、数学ⅡＢの基礎学力の定着を図る。 ・近年のセンター試験では，長文傾向にあり，数学的な文章を読み解く力もポイントとなる。また，ただ定義通り計算させるだけでなく，定義自体の本質的な意味を問うような問題が増加傾向にある。これらに対応するため，基礎知識の暗記のみにとどまらず，しっかり理解させた上で，定着を図る。 ・2 学期後半には時間配分なども考えさせ、試験本番を意識したテスト形式の演習を行い、解くスピードを意識させると同時に，最後まで考えぬく力の養成を図る。				
到達目標	数学ⅡＢの基礎の定着を図るとともに，センター試験に対応できる力を身につける。				
評価方法	定期考査，実力テスト、小テストなどで到達度を問う。また，課題提出，授業への取り組みなども考慮し総合的に評価する。				
使用教材	『センター攻略　PickUp120　数学Ⅰ＋A，Ⅱ＋B』（東京書籍） ※センター直前演習問題集（検討中）				
その他					

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年・類	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
3年 探究 文系	数学Ⅱ	センター攻略数学Ⅱ＋B	方程式・式と証明		■	■		1学期中間試験					1学期期末試験			夏休み							2学期中間試験	■	■	■	■	2学期期末試験	■	冬休み							学年末試験		
			図形と方程式			■	■																	■	■	■	■	■	■	■										
			三角関数						■	■														■	■	■	■	■	■	■										
			指数関数・対数関数								■	■												■	■	■	■	■	■	■										
			微分と積分									■			■									■	■	■	■	■	■	■										
			数列																■	■				■	■	■	■	■	■	■										
			ベクトル																		■	■		■	■	■	■	■	■	■										

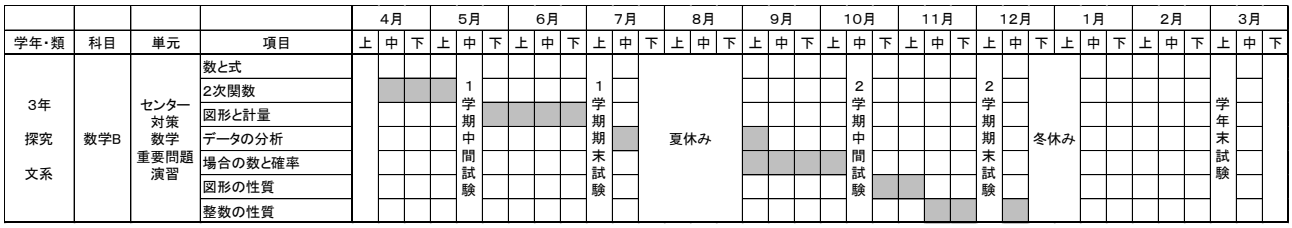
授業科目	数学ⅡB（理系）				平成30年度 数学科シラバス
学年・類（コース）	3学年	探究	単位数	6	
授業内容	【センター試験対策】 　センター試験対策の演習を中心に，数学ⅠＡⅡＢの基礎学力定着を図る。 数学ⅠＡⅡＢの内容を単元別復習した後，時間配分などセンター試験本番を意識してテスト形式で演習を行う。 【２次試験対策】 　２学期後半からは，模擬試験の問題や各大学の入試問題演習も取り入れ，センター試験だけでなく，個別学力試験対策および応用力の養成を図る。				
到達目標	数学ⅠＡⅡＢの基礎学力の定着を図るとともに，センター試験や各大学個別学力試験などの入試問題に対応できる応用力をつける。また，受験問題を通して自ら考える力や行動できる力を付ける。				
評価方法	定期試験・課題点検試験・小テスト・課題提出状況・提出物・授業態度などを総合的に判断し評価する。				
使用教材	『センター攻略 PickUp120　数学Ⅰ＋A，Ⅱ＋B』（東京書籍） 『キートレーニング数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B』（数研）				
その他					

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年・類	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
3年 探究 理系	数学B	センター攻略数学ⅠⅡAB キートレーニング	数と式・2次方程式		■			1学期中間試験					1学期期末試験			夏休み							2学期中間試験		■	■	■	2学期期末試験	■	冬休み							学年末試験		
			2次関数				■		■																■	■	■		■										
			図形と計量							■	■														■	■	■		■										
			集合と論証																		■				■	■	■		■										
			データの分析																			■			■	■	■		■										
			場合の数と確率																■	■					■	■	■		■										
			整数の性質																						■	■	■		■										
			図形の性質									■		■											■	■	■		■										
			方程式・式の証明		■																				■	■	■		■										
			図形と方程式			■																			■	■	■		■										
			三角関数				■		■																■	■	■		■										
			指数関数・対数関数							■	■														■	■	■		■										
			微分と積分									■		■											■	■	■		■										
			数列																■	■					■	■	■		■										
			ベクトル																		■	■			■	■	■		■										

授業科目	数学Ⅲ				平成30年度 数学科シラバス
学年･コース	3学年	探究	単位数	6	
授業内容	第１章　複素数平面 　座標平面上の点に複素数を対応させ複素数平面を考えることで、複素数の和・差および実数倍を図示し、また、複素数の極形式による表現から複素数の積・商の図形的意味を考察する。ド・モアブルの定理を利用し、複素数のｎ乗根を求め、図形的な意味を考察する。複素数平面上の図形に現れる角や辺の長さの比が複素数を用いて考察し、それらを活用する。 第２章　式と曲線 　２次曲線の方程式を導くことから基本的性質を学び､平行移動や接線について学ぶ。また、曲線が媒介変数表示や極座標表示など様々な式で表されることを学ぶ。 第４章　極限 　数列の収束・発散を調べ、極限を求めることができる。不定形を解消する工夫して変形し、極限を求めることができる。「はさみうちの定理」を用いて極限を考察する。数を無限に加えることを考察し、無限級数の収束・発散を調べる。 　ｘの値を限りなくａあるいは∞に近づけたときｆ(x)の極限を求めることができる。グラフをかくことで連続性・不連続性を考察する。中間値の定理を理解し、それを用いて方程式の実数解の存在を考察する。 第５章　微分法 　積・商の導関数、合成関数の導関数、逆関数の微分法を学ぶ。三角関数・指数関数・対数関数などの微分法を学ぶ。 第６章　微分法の応用 　接線・法線の方程式を求めることができる。様々な関数の増減、極値、グラフの凹凸を調べグラフの概形をかく。それらを事象の考察に活用する。 第７章　積分法とその応用 　積分の基本的な性質を理解し、様々な関数の不定積分を計算できる。置換積分・部分積分法を学ぶ。定積分の基本的性質を学び、面積や体積を求めるときに活用する。				
到達目標	上記の内容を理解し，知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに，それらを積極的に活用する態度を育てる。				
評価方法	定期考査，実力テスト，授業中の小テストなどで到達度を問う。また，課題提出，授業への取り組みなども考慮し総合的に評価する。				
使用教材	教科書：『数学Ⅲ』（数研出版） 副教材：『４プロセス数学Ⅲ』（数研出版） ★『センター攻略　数学Ⅰ＋A，Ⅱ＋B』（東京出版）				
その他					

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年･類	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
3年 探究 理系	数学Ⅲ	複素数平面	複素数平面					1学期中間試験					1学期期末試験			夏休み						2学期中間試験						2学期期末試験			冬休み						学年末試験		
		式と曲線	2次曲線																																				
			媒介変数表示と極座標																																				
		関数	関数																																				
		極限	数列の極限																																				
			関数の極限																																				
		微分法	導関数																																				
			いろいろな関数の導関数																																				
		微分法の応用	導関数の応用																																				
			いろいろな応用																																				
		積分法とその応用	不定積分																																				
			定積分																																				
			積分法の応用																																				

授業科目	数学B				平成30年度 数学科シラバス
学年・コース	3学年	探究文系	単位数	2	
授業内容	【センター試験対策】 ・センター試験対策の演習を中心に，数学ＩＡの内容を単元別に復習する。 ・近年のセンター試験では，長文傾向にあり，数学的な文章を読み解く力もポイントとなる。また，ただ定義通り計算させるだけでなく，定義自体の本質的な意味を問うような問題が増加傾向にある。これらに対応するため，基礎知識の暗記のみにとどまらず，しっかり理解させた上で，定着を図る。 ・2 学期最後には時間配分なども考えさせ，試験本番を意識したテスト形式の演習を行い，センター試験に備える。				
到達目標	数学ＩＡの基礎学力の定着を図るとともに，積極的に深く考え抜く姿勢を育てる。それにより，センター試験に対応できる力をつける。				
評価方法	定期試験・課題提出状況・授業態度などを総合的に判断し評価する。				
使用教材	『センター攻略　PickUp120　数学Ｉ＋A，Ⅱ＋B』（東京書籍） ※センター直前演習問題集（検討中）				
その他					



授業科目	数学B				平成30年度 数学科シラバス
学年･コース	3学年	探究理系	単位数	2	
授業内容	【入試対策】 ・国公立二次試験・私立大学入試対策として，数学ⅠＡⅡＢの内容を単元別復習する。 ・近年，大学入試では，ただ定義通り計算させるだけでなく，定義自体の本質的な意味を問うような問題が増加傾向にある。これらに対応するため，基礎知識の暗記のみにとどまらず，本質をしっかり理解させた上で，定着を図る。 ・本番を意識して，解答に到る過程を論理的かつ速やかに表現する演習をする。 ・問題集の問題を厳選し，解法を身につけ，試験で問われる思考力を磨く。				
到達目標	数学ⅠＡⅡＢの基礎学力の定着を図るとともに，入試問題に，積極的に粘り強く考え抜く態度を育てる。そして，筆記試験等に対応できる応用力や表現する力をつける。				
評価方法	定期試験・課題提出状況・授業態度などを総合的に判断し評価する。				
使用教材	キートレーニング数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B　受験編（数研）				
その他					

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年･類	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
3年 探究コース	数学Ⅰ･A	数学Ⅰ	数と式		■	■		1学期中間試験					1学期期末試験										2学期中間試験						2学期期末試験									学年末試験		
			2次関数			■	■		■																														
			図形と計量						■	■																													
			データの分析								■																												
		数学A	場合の数と確率								■	■																											
			図形の性質									■		■																									
			整数の性質											■																									
	数学Ⅱ･B	数学Ⅱ	式と証明																■	■																			
			複素数と方程式																	■	■																		
			図形と方程式																		■	■																	
			三角関数																			■			■	■													
			指数関数･対数関数																							■	■												
			微分法･積分法																								■	■											
		数学B	ベクトル																										■										
			数列																										■										

授業科目	物理				平成 30 年度 理科シラバス
履修学年・コース	3 学年	探究コース	単位数	4	
授業内容	熱と気体を学んだ後、物理基礎にある基本から入って電気と磁気、原子について学習する。 1　熱と気体 ・気体の法則、状態方程式の理解を深め、気体の状態変化との関連付けができるようにする。 ・気体分子運動論の学習を通じて巨視的な世界と微視的な世界を橋渡しする考え方が理解できるようにする。 2　電気と磁気 ・静電気の現象について理解を深め、万有引力のところで学んだ「場」の考え方を電界・電位についても扱うことができるようにする。 ・コンデンサー回路を重点的に扱う。 ・電流では、電子運動論からオームの法則を考察する。 ・キルヒホッフの法則を重点的に扱い、複雑な電流回路についても考察できるようにする。 ・磁気の現象・性質について学習し、静電気で学んだ電界や電気力線などと類似していることに気付くことで電磁気現象への視野を広げる。 ・右ねじの法則, フレミングの法則など電流と磁場の関係について重点的に扱う。 ・ローレンツ力の学習を通じて微視的な世界と巨視的な世界の関連付けができるようにする。 ・電磁誘導の学習からモーターや発電機の原理、交流など日常の電磁気現象がより豊かに捉えられるようにする。 3　原子 ・電子と光については、光の粒子性、物質波について重点的に扱う。 ・原子と原子核では、放射線とその性質について重点的に学習し、核エネルギーと科学的に向き合い、日常生活を見つめ直す機会をつくる。				
到達目標	・気体分子や電子の運動論から微視的な世界と巨視的な世界を関連づけることができるようにする。 ・電磁気・原子という視点から日常に生起する諸現象を眺めることによって視野を広め、物理現象の理解を深めること。 ・センター試験レベルに止まらず大学の二次試験問題を解く力をつけること。				
評価方法	定期考査・小テスト・課題の取り組み状況・平常授業の取り組み姿勢、等から総合的に判断して評価する。 知識・理解・思考・判断・技能・表現は主として定期考査から、関心・意欲・態度は主として定期考査以外の内容から判断する。その際、定期考査とそれ以外の比率を決めるなどして担当者によって差がでないよう考慮して評価する。				
使用教材	教科書：物理（数研出版）　副教材：リードα物理（数研出版） 物理図録（数研出版）				
その他					

● 授業進度表

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年・類	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
3年 探究 コース	物理	熱と気体	気体のエネルギーと状態変化		■	■		1学期中間試験					1学期期末試験										2学期中間試験					2学期期末試験										学年末試験		
		電気と磁気	電場				■		■	■																												
			電流							■	■	■		■																								
			電流と磁場																■	■	■																	
			電磁誘導と電磁波																			■			■	■	■											
		原子	電子と光																								■	■										
			原子と原子核																									■										

授業科目	化学基礎				平成 30 年度 理科シラバス
学年･コース	3 学年	探究･文系	単位数	1	
授業内容	化学基礎　酸化還元の応用（電池・電気分解） 酸化還元反応に関連した電池・電気分解の内容を理解する。 第１編　物質の構成 原子の構造及び電子配置と周期律の関係を理解させる。また、物質の性質については化学結合との関係を理解させ、物質について微視的な見方ができるようにする。 第２編　物質の変化 物質量を学習した後、化学反応の量的関係，酸と塩基の反応及び酸化還元反応から化学反応に関する基本的な概念や法則を理解させるとともに，それらを日常生活や社会と関連付けて考察できるようにする。				
到達目標	・日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ科学的な見方や考え方を養う。 ・センター試験および私立大学の入試問題を解く力をつけること。				
評価方法	定期考査・小テスト・課題の取り組み状況・平常授業の取り組み姿勢、等から総合的に判断して評価する。 知識・理解・思考・判断・技能・表現は定期考査から、関心・意欲・態度は定期考査以外の内容から判断する。				
使用教材	化学基礎　東京書籍 リードα化学基礎　数研出版 チェック&演習　化学基礎　数研出版				

●授業進度表

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年･類	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
3年 探究 （文系）	化学基礎	酸化還元	電池･電気分解					1学期中間試験					1学期期末試験										2学期中間試験					2学期期末試験											
		物質の構成	物質の探求																																			
			原子の構造と周期表																																			
			化学結合																																			
		物質の変化	物質量と化学反応式																																			
			酸と塩基																																			
			酸化還元反応																																			

授業科目	化学				平成 30 年度 理科シラバス
学年･コース	3 学年	探究･理系	単位数	4	
授業内容	第２編　化学反応とエネルギー　　第３編　化学反応の速さと平衡 化学反応に伴うエネルギーの出入り，反応速度及び化学平衡から化学反応に関する概念や法則を理解させるとともに、それらを日常生活や社会と関連付けて考察できるようにする。 第４編　無機物質 無機物質の単体と化合物の性質や反応を、元素の性質が周期表に基づき整理できることを理解させるとともに、それらを日常生活や社会と関連付けて考察できるようにする。 第５編　有機化合物 有機化合物の性質、反応、分類と特徴を理解させるとともに、それらを日常生活や社会と関連付けて考察できるようにする。 第６編　高分子化合物 高分子化合物の性質、反応及び合成高分子化合物と天然高分子化合物の特徴を理解させるとともに、それらを日常生活や社会と関連付けて考察できるようにする。				
到達目標	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ科学的な見方や考え方を養う。				
評価方法	定期考査・小テスト・課題の取り組み状況・平常授業の取り組み姿勢、等から総合的に判断して評価する。 知識・理解・思考・判断・技能・表現は定期考査から、関心・意欲・態度は定期考査以外の内容から判断する。				
使用教材	化学　東京書籍 フォトサイエンス　数研出版 リードα化学基礎＋化学　数研出版 チェック&演習　化学　数研出版				

●授業進度表

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年･コース	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
3年 探究	化 学	化学反応と エネルギー	化学反応と熱･光					1 学 期 中 間 試 験					1 学 期 期 末 試 験										2 学 期 中 間 試 験						2 学 期 期 末 試 験									学 年 末 試 験		
			電池と電気分解																																				
		化学反応の 速さと平衡	化学反応の速さ																																				
			化学平衡																																				
			水溶液中の化学平衡																																				
		無機物質	非金属元素																																				
			典型金属元素																																				
			遷移元素																																				
		有機化合物	特徴と構造																																				
			炭化水素																																				
			酸素を含む化合物																																				
			芳香族化合物																																				
		高分子化合物	高分子化合物																																				
			天然高分子化合物																																				
			合成高分子化合物																																				

授業科目	生物基礎				平成 30 年度 理科シラバス
学年･コース	3学年	探究･文系	単位数	2	

授業内容	第１部生物の特徴 生物の多様性と共通性の視点を身につけ，生物の体を構成する共通の基本単位である細胞の構造と働きを学び，生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解する。 第２部 遺伝子とその働き 生物と遺伝子について観察，実験などを通して探究し，細胞の働き及び DNA の構造と機能の概要を理解する。 第３部 生物の体内環境の維持 生物の体内環境の維持について観察，実験などを通して探究し，生物には体内環境を維持する仕組みがあることを理解させ，体内環境の維持と健康との関係について認識する。 第４部 生物の多様性と生態系 生物の多様性と生態系について観察，実験などを通して探究し，生態系の成り立ちを理解し，その保全の重要性について認識する。
到達目標	理科の目標 ・日常の様々な事象を科学的観点から見つめる事ができる、豊かな自然観をもった人物を育てる。 ・科学的なリテラシーをもった、自然科学が好きな人物を育てる。 学習の目標 ・生物や生物現象に対する探究心を高め，目的意識をもって観察，実験などを行い，生物学的に探究する能力と態度を身につけるとともに，生物学の基本的な概念や原理･法則の理解を深め，科学的な自然観を養う。 ・センター試験および私立大学の入試問題を解く力をつけること。
評価方法	下記の(1)～(5)の項目を評価し、各学期の成績は総合的に判断します。 **(1)授業への取り組み**　授業に対する姿勢，学習態度，生物への関心などで判断する。 **(2)ノートの記載内容**　授業内容を適切にまとめているか，科学的な思考ができているかなどを評価する。 **(3)観察･実験等**　観察･実験等を行い，レポートを書く。観察･実験に対する姿勢，予想や考察，器具の操作，報告書などから評価する。 **(4)教科書･問題集の問題**　各問題への取り組み，取り組んだ内容から評価する。 **(5)中間･定期考査**　学習内容に合わせて問題を出題する。
使用教材	教科書　生物基礎　数研出版 副教材　リードα生物基礎　数研出版 スクエア最新図説生物　第一学習社 チェック＆演習　生物基礎　数研出版

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年･類	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
3年 探究	生物基礎	生物と遺伝子	生物の特徴		*	*	*	1学期中間試験	*	*	*		1学期期末試験										2学期中間試験					2学期期末試験										学年末試験		
			遺伝子とそのはたらき									*		*					*	*																				
		生物の体内環境の維持	生物の体内環境																		*	*		*	*	*		*											
		生物の多様性と生態系	植生の多様性と分布																												*	*	*	*	*				
			生態系とその保全																																				

授業科目	生物				平成 30 年度 理科シラバス
学年･コース	3学年	探究･理系	単位数	4	
授業内容	第３部 生物の環境応答 環境の変化に生物が反応していることについて観察，実験などを通して探究し，生物個体が外界の変化を感知し，それに反応する仕組みを理解する。 第４部 生物の進化と系統 生物の進化の過程とその仕組みおよび生物の系統について，観察，実験などを通して探究し，進化についての考え方を身に付け，生物の多様性と系統を理解する。 第５部 生態と環境 生物の個体群と群集および生態系について観察，実験などを通して探究し，それらの構造や変化の仕組みを理解し，生態系のバランスや生物多様性の重要性について認識する。				
到達目標	理科の目標 ・日常の様々な事象を科学的観点から見つめる事ができる、豊かな自然観をもった人物を育てる。 ・科学的なリテラシーをもった、自然科学が好きな人物を育てる。 学習の目標 ・生物や生物現象に対する探究心を高め，目的意識をもって観察，実験などを行い，生物学的に探究する能力と態度を身につけるとともに，生物学の基本的な概念や原理･法則の理解を深め，科学的な自然観を養う。 ・センター試験レベルに止まらず大学の二次試験問題を解く力をつけること。				
評価方法	下記の(1)～(5)の項目を評価し、各学期の成績は総合的に判断します。 **(1)授業への取り組み**　授業に対する姿勢，学習態度，生物への関心などで判断する。 **(2)ノートの記載内容**　授業内容を適切にまとめているか，科学的な思考ができているかなどを評価する。 **(3)観察･実験等**　観察･実験等を行い，レポートを書く。観察･実験に対する姿勢，予想や考察，器具の操作，報告書などから評価する。 **(4)教科書･問題集の問題**　各問題への取り組み，取り組んだ内容から評価する。 **(5)中間･定期考査**　学習内容に合わせて問題を出題する。				
使用教材	教科書　生物　数研出版 副教材　リードα生物　数研出版　　スクエア最新図説生物　第一学習社 チェック＆演習　生物　数研出版				

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年･類	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
3年 探究 理系	生物	生命現象と物質	細胞と分子					1学期中間試験					1学期期末試験								*		2学期中間試験						2学期期末試験										学年末試験		
			代謝																			*																	
			遺伝情報の発現																					*															
		生殖と発生	生殖と発生																						*														
		生物の環境応答	動物の反応と行動		*	*																				*													
			植物の環境応答				*		*																		*												
		生態と環境	生物群集と生態系							*	*																			*									
		生物の進化と系統	生命の起源と進化									*		*																									
			生物の系統																*	*																			

	体育				平成 30 年度 シラバス
履修　類・学年	全コース	3年男子	単位	3	
授業内容	・集団行動 学校生活の中で集団行動する機会が非常に多い。このような場合、守らなければならない諸事項をお互いに守ることによって、集団として秩序を身につける。 ・体つくり運動 自分の体力・運動能力の現状を確かめる。その結果をよく分析して、不足している能力を高めるためいろいろなスポーツ活動に親しみ、ますます心身を鍛錬して、健康で充実した学校生活が送れるよう努力することを学ばせる。 ・選択：サッカー、ソフトボール、ソフトテニス、バドミントン、バレーボール、 バスケットボール、卓球 自己の関心、能力等に基づいて運動や課題を選択し、運動の行い方を工夫してゲームをする。集団スポーツの特性を理解する。基本的ルールを理解するとともに基本的技能を身につけ、技術を上達させる。 ・陸上 歩く、走、跳、投の人間の基礎的・基本的運動を身につける。体力や運動能力をそれぞれの種目で十分に生かすためには、合理的な運動の技術を身につける。 ・体育理論 合理的な動きを理解し、練習によって身につけることや、必要な体力をトレーニングによって向上させることで、運動やスポーツを生涯にわたって継続していくための基礎を学習する。				
到達目標	・積極的に楽しく運動に取組んでいる。 ・声を掛け合い、励まし合い、教え合いならが技術の習得に取り組んでいる。 ・ゲームを進めるためのルールを理解している。 ・スキルテストで標準技能や技術を習得させる。				
評価方法	・関心、意欲、態度　・思考判断　・技能　・知識理解				
使用教材	アクティブスポーツ総合版（大修館）				
その他					

●授業進度表

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年・類	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
3年男子	体育	集団行動	姿勢、方向転換					1学期中間試験					1学期期末試験										2学期中間試験					2学期期末試験									学年末試験		
			集合、整とん、隊形、解散																																			
		体カづくり	体ほぐしの運動																																			
			体力を高める運動																																			
		球技	基本的技能の復習																																			
			発展練習																																			
		陸上	基礎・基本的な運動																																			
			合理的な運動																																			
		ダンス	簡単なコンビネーション																																			
			創作ダンス																																			
		体育理論	合理的な運動を学習する																																			
			練習方法や必要な体力																																			
			生涯スポーツの意味																																			

授業科目	体育				平成 30 年度 シラバス
履修　類・学年	全コース	3年女子	単位	3	
授業内容	・集団行動 学校生活の中で集団行動する機会が非常に多い。このような場合、守らなければならない諸事項をお互いに守ることによって、集団として秩序を身につける。 ・体つくり運動 自分の体力・運動能力の現状を確かめる。その結果をよく分析して、不足している能力を高めるためいろいろなスポーツ活動に親しみ、ますます心身を鍛錬して、健康で充実した学校生活が送れるよう努力することを学ばせる。 ・選択：サッカー、ソフトボール、ソフトテニス、バドミントン、バレーボール、 バスケットボール、卓球 自己の関心、能力等に基づいて運動や課題を選択し、運動の行い方を工夫してゲームをする。集団スポーツの特性を理解する。基本的ルールを理解するとともに基本的技能を身につけ、技術を上達させる。 ・陸上 歩く、走、跳、投の人間の基礎的・基本的運動を身につける。体力や運動能力をそれぞれの種目で十分に生かすためには、合理的な運動の技術を身につける。 ・体育理論 合理的な動きを理解し、練習によって身につけることや、必要な体力をトレーニングによって向上させることで、運動やスポーツを生涯にわたって継続していくための基礎を学習する。				
到達目標	・積極的に楽しく運動に取組んでいる。 ・声を掛け合い、励まし合い、教え合いならが技術の習得に取り組んでいる。 ・ゲームを進めるためのルールを理解している。 ・スキルテストで標準技能や技術を習得させる。				
評価方法	・関心、意欲、態度　・思考判断　・技能　・知識理解				
使用教材	アクティブスポーツ総合版（大修館）				
その他					

●授業進度表

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年・類	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
3年女子	体育	集団行動	姿勢、方向転換					1学期中間試験					1学期期末試験										2学期中間試験					2学期期末試験									学年末試験		
			集合、整とん、隊形、解散																																			
		体カづくり	体ほぐしの運動																																			
			体力を高める運動																																			
		球技	基本的技能の復習																																			
			発展練習																																			
		陸上	基礎・基本的な運動																																			
			合理的な運動																																			
		ダンス	簡単なコンビネーション																																			
			創作ダンス																																			
		体育理論	合理的な運動を学習する																																			
			練習方法や必要な体力																																			
			生涯スポーツの意味																																			

授業科目	コミュニケ―ション英語Ⅱ				平成 30 年度 英語科シラバス
学年・類（コース）	探究	文系講座	単位数	2	
授業内容	・各レッスンの英文の中に出てくる重要構文を身につけさせる。 ・高１，高２で既に習っている語句などの再確認をさせ，文脈の中で適切な訳語に変換できるようにさせる。 ・教科書の Reading Skills でトピックセンテンス，ディスコースマーカーズ，スキミング，スキャニングを意識した英文読解を意識させる。				
到達目標	・単語を日本語に機械的に変換するのではなく，文意を読み取れるようになる。 ・選択肢以外の問題に対して，自分の言葉で解答できるようになる。 ・語句・構文を定着させ，模試や入試問題に対応できるようになる。 ・問題演習を通してセンターレベルの英文が読めるようにする。				
評価方法	・定期考査 50% ・平常点 50%（課題提出・確認テスト・授業意欲など）				
使用教材	・Applause Vol.4【美誠社】 ・私大入試問題【教学社】				
その他					

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			
学年・コース	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上
3年 探究	C.ENGLISHⅡ	L1	教訓		■			1学期中間試験					1学期期末試験										2学期中間試験					2学期期末試験									学年末試験
		L2	社会			■																															
		L3	環境				■																														
		L4	環境						■																												
		L5	自然科学							■																											
		L6	社会								■																										
		L7	文化史									■																									
		L8	芸術											■																							
		L9	教育																■																		
		L10	社会																	■																	
			私大入試問題演習																		■	■		■	■	■	■		■								

授業科目	コミュニケーション英語Ⅲ				平成30年度 英語科シラバス
学年・類（コース）	探究	3年	単位数	4	
授業内容	教科書に沿ってさまざまな英文を読み、内容を理解し、自らの知識と結び付けながら自分の意見を持ち、それを他者に伝えられるように「聞く」「読む」「話す」「書く」の４技能を有機的に関連付けて総合的に学習を行う。 ①Pre-reading Questions で写真に関する会話文を聞き、簡単な英語の質問に答える活動を行う。 ②Focus On Words で各 Lesson に関する語彙の確認を行う。 ③本文を Listening することで概要をつかむ。 ④Lesson ごとに２つの題材があり、テーマを意識しながらパラグラフごとの要約を行う。 ⑤パラグラフごとに設定された問題や本文理解の問題を解くことで理解を深める。 その他にも副教材や資料等を使用しながら総合的な英語力を涵養する。				
到達目標	・英語を通じて情報や考えなどを理解し、自分の考えや意見を相手に伝えることができる。 ・文法を理解した上で、英文を理解したり、ある程度まとまった英文を書いたりすることができる。 ・日常のリスニングやリーディング活動をセンター試験に結び付けることができる。				
評価方法	評価の観点 ①コミュニケーションへの関心・意欲・態度 ②表現の能力 ③理解の能力 ④言語や異文化についての知識・理解, 以上の４点について定期テストや小テスト、また提出物や授業への取り組み等を総合的に勘案し評価する。				
使用教材	・POLESTAR English Communication Ⅲ（教科書）【数研出版】 ・POLESTAR English Communication Ⅲワークブック（復習ノート）【数研出版】 ・Cutting Edge 1 （長文副教材）【エミル出版】 ・Data Base 3000 基本英単語・熟語 5th Edition（単語帳）【桐原書店】（継続） ・リスニング問題オールイアーズ vol.2（リスニング教材）【美誠社】（継続） ・総合英語 able（文法書）【第一学習社】（継続） ・Next Stage 4th edition（文法演習参考書）【桐原書店】（継続） ・辞書				
その他	・定期試験にはリスニング及びライティングが課せられる。 ・センター試験対策問題集（リスニング・筆記）を導入する。				

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年・コース	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
3年探究コース	コミュニケーション英語Ⅲ	Lesson1	Language and Communication					1学期中間試験					1学期期末試験										2学期中間試験					2学期期末試験									学年末試験		
		Lesson2	Medhia and the Internet																																				
		Lesson3	Modern Culture and Custom																																				
		Lesson4	Technology and Society																																				
		Lesson5	CrossculturalUnderstanding																																				
		Lesson6	Politics and Economics																																				
		Lesson7	Medicine and Biotechnology																																				
		Lesson8	Nature and the Environment																																				

授業科目	英語表現Ⅱ				平成30年度 英語科シラバス
学年・類（コース）	3学年	探究コース	単位数	2単位	
授業内容	・英語を読んで、理解し、正しい英文を書くために必要な、文法・語法力を養う ことを目指して、英文法を体系的に学んでいく。 ・各項目の要点を学び直し、それを確認するための演習問題（主に４択問題や 並べかえ）をやりながら、知識としての文法・語法のルールを確認する。 ・次に、学習したことの定着を目ざして、ランダム問題や整序など、一歩数進 んだ演習問題を解きながら、弱点の確認とその補強をはかる。 ・日本語の意味、英語の文構造を理解しながら、伝えるための英語作文演習を行 う。 以上のような授業内容を通じて、確実な知識に基づいた、書く力の養成を図る。				
到達目標	・大学入試の文法問題に対応できる力を身につける。 ・長文読解における文構造把握、文解釈理解の基礎となる文法力を身につける。 ・コミュニケーション英語Ⅲの試験で出題される英作文の試験に関して、１００語程度の語数で論理的な英文が書けるような語彙力、文法知識を身につける。				
評価方法	定期考査、授業中の活動、発表、課題の提出、及び小テストで総合的に評価する。				
使用教材	・Vision Quest English Expression Ⅱ （教科書）【啓林館】 ・Trend17 【桐原書店】 ・Next Stage 英文法・語法問題 Winning Spirit 【桐原書店】 ・Vision Quest English Expression Ⅱ ワークブック 【啓林館】（継続） ・Next Stage 4th Edition 【桐原書店】（継続） ・総合英語 able 【第一学習社】(継続)				
その他	週末課題なども工夫し、自主勉強の充実のため、各自の勉強法の開発にも力を入れる。				

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年・コース	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
3年探究	英語表現Ⅱ	Lesson 31,32,33	否定・強調・倒置					1学期中間試験					1学期期末試験										2学期中間試験					2学期期末試験									学年末試験		
		Lesson 34	挿入・省略・同格、無生物主語・名詞構文																																				
		Unit1	英文法総合問題																																				
		Unit2,3	英文法総合問題																																				
		Unit4,5	英文法総合問題																																				
		Part1,2	総合演習																																				
		入試問題演習習																																					